

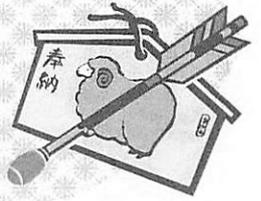
謹んで新春の御祝詞を申し上げます

平成十五年(二〇〇三年)元旦



市浦村役場

- 市長 高松隆三
- 助役 工藤誠一郎
- 収入役 山田勝明
- 教育長 木村義光
- 総務課長 桑野邦夫
- 経済観光課長 中居松男
- 建設課長 成田義正
- 教育次長 古川徹
- 住民福祉課長 三和省勝
- 企画財政課長 浜田和幸
- 議会事務局長 三和徳衛
- 住民福祉課副参事 奈良勝義
- 市浦診療所 内科医師 岩村有泰
 歯科医師 林宗輝
- 津軽北部広域事務組合市浦消防署長 吉田誠一



年頭の ごあいさつ

市浦村長

高松隆三



健康日本一の

村づくりをめざして

ダブルでノーベル賞の受賞が出て、景気が良くなるきざしが見えない日本一。
何がメダイのかわからないけれど、それでも新しい年に期待を込めて。

明けましておめでとうございます。
と申し上げると共に、すべての村民の皆様には幸多かれとお祈り申し上げます。

今年「未(ひつじ)年」であります。六十年前のひつじ年だった昭和十八年は、子どもたちには「欲しがりません勝つまでは」というスローガンのもとに、ガマンを押し付け、そしてアツツ諸島玉砕、学徒出陣、山本五十六元帥ソロモン諸島の戦死という、軍部の「筋道なき玉砕戦法と暴走」で第二次世界大戦も敗色濃厚となっていた年でありました。

これは政策論議も、将来展望もないまま、「いま良ければ」という風潮の中で、四町村の合併

ありきで他のチャンネルに耳を貸さずに、法定協へと急ぐ、この地域の町村合併と似た様相を呈していることに、私は歴史の皮肉なめぐりあわせを感じるのがあります。

不完全燃焼のままの町村合併、将来に悔いを残さないためにも限られた時間と土俵の中で、最善、最良の努力をしていく考えであります。

「右も左も真つ暗やミじゃござんせんか」と鶴田浩二は歌い、人気ポップスターの桑田佳祐もこれまでの「みんな元気かー」から「みんな死ぬなよー」と呼び方を変えるほど「せち辛い」時世ではあります。しかし我が村では「しゅうらんど海遊館」がオープンしてから二年間で約五千万円も医療費が下がり、そして診療所も平成五年から九年連続で黒字経営を続けるなど明るい面もありました。

たそがれは人々を瞑想の世界へと誘い「燃える夕日はやがて太陽となるー。」という理念を掲げて、夕日と癒しをテーマ

に取組んだこの四年間。特養ホームの誘致、保健と医療を家庭に出前する「包括ケアシステム」の実施や一日二食の配食サービス。しゅうらんど海遊館、モリス公園やお祭り広場の建設をはじめ、安東氏の栄華を偲ぶ歴史の回廊「東日流館橋」の建設のほか、保育園や小学校の統合、相内地区の圃場整備事業の着工など、「ゆとりと風格のあるまちづくり」を着実に進めてきたところでもあります。

新年度には、さらに「健康と長寿」というこの人類永遠のテーマに挑戦すべく、保健・福祉・医療のサービスマス拠点として事業費約六億四千万円で村民健康センターを建設し、「ニギニギ体操」の全村普及や「しゅうらんど海遊館」の有効活用を図りながら健康日本一の村づくりをめざして進むこととしており、また総事業費約十五億円、三年計画で生活ゴミの処分場も今年十月頃には着工する予定であります。

下水道整備事業は十三、相内地区の供用開始に続いて、今年も脇元、磯松地区の測量調査、実施計画など行い、平成十六年度に事業着工の予定であります。そのほか期待の十三湊新漁港建設についても、四月十日には

安全祈願祭を実施し、事業の本格着工にすることとしております。

また今年には観光立村二十周年と上ノ国町との友好町村締結十五周年という記念すべき年にあたって、イベント等へのご協力もお願いしたいと思っております。

財政が厳しくても、公共事業がたたかかれても村の振興発展と村民の「健康といのち」を守るために、やらなければならぬものは全知全能を結集してやりぬく考えであります。

二十一世紀に入って三年目になります。常識では考えられない激動、激変の連続であり、二十一世紀はまさに変革の世紀でもあり、海図なき航海とはこうしたことを云っているのかも知れません。

とすればこの苦難の時代、自分の心の中にも羅針盤を持つことが必要だと思えます。

最近「自分のことは自分で」という市民のボランティアが次々誕生していますが。これまでのように何でも行政へではなく、この村のために自分たちは何ができるかという、新しい発想と行動力のもとに光輝ある年にしていただくよう期待し年頭のごあいさついたします。

市浦村議会議長

工藤 武則



新年明けましておめでとうございませう。

本年も変わらぬご指導とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

依然として経済の低迷が続き日本社会全体が底冷えしている情勢の中で、昨年の歴史的な出来事として、小泉首相が日本の首相として初めて、近くて遠い国であり不正常関係にあった朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）へ、半世紀以上の年月を経て訪朝したことであり、これは歴史に残るものであります。

しかし、日本と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）との間には、拉致事件等を含め問題が山積しておりますが、政府及び諸活動団体等の努力により拉致事件の被害者五人が二十四年ぶりに無事帰国でき、それぞれの故郷へ帰ることができたことは、

住民のニーズを判断し、 活力ある村づくりを

日本国民にとって非常に喜ばしい出来事でありました。

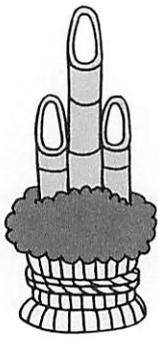
さて、迎えた年は、長引く不況により、当村の財政状況にも反映され、相当厳しい財政運営を余儀なくされることが予測されますが、本村の基幹産業であります農林水産業をはじめ、商業や観光資源の開発、更には教育環境や少子・高齢化時代に向けての対応など、課題が山積していることを踏まえ、議会としても的確に住民のニーズを判断し、個性豊かな活力ある村づくりに積極的に取り組む所存でございます。

また、現在、政府が進めている平成の市町村合併は、地方分権等による行政改革や財政基盤強化のためにも避けてはとれない課題となっております。ご承知のとおりでございます。政府は、当初の目標どおり市町村合併のスタートを、平成十七年四月一日から行う構えには、変わりございません。そのため昨年は、最重要課題であった合併の枠組みを選択す

る正念場の年であることから合併に関するアンケート調査、合併問題百人委員会からの意見、更には、シンポジウムでの意見交換等を集約しながら再三に渡って村議会全員協議会を開催し、合併の枠組みの選択肢を慎重に協議してきました。その結果、

北部二町二村による法定協議会への移行を決めました。また、まだ市町村合併に関する問題は山積しておりますので、今後とも村民各位のご理解あるご協力とご支援をお願いし、年頭のごあいさつといたします。

結びに、村民の皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

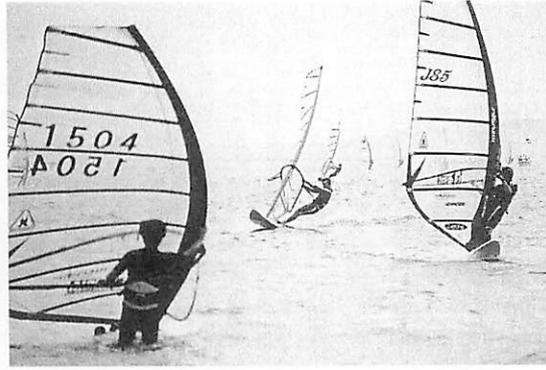


2002年ハイライト

この一年を写真で振り返る
二〇〇二年ハイライト。今
年も村ではいろいろの行事
が行われました。



▲村友会議を開催



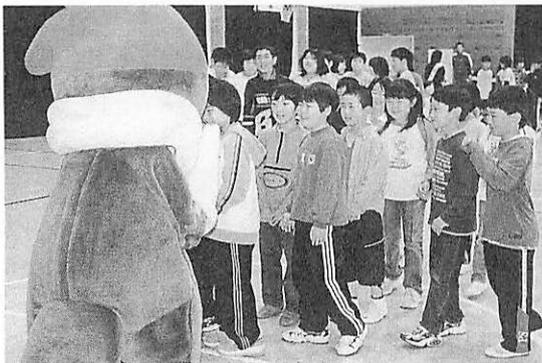
▲ウインドサーフィン全国大会「十三湖レーシング2002」



▲総合健診「1日ドック」で村民840人が受診



▲平成14年度 成人式 18人が大人の仲間入り



▲冬季アジア大会マスコット「ウィン太くん」が来村



▲市町村合併問題100人委員会を設置
6回の全体会を開催しました

1月

○ 交通死亡事故ゼロ一〇〇〇日を達成。

2月

○ 白鳥まつり開催。
○ 第三回セーフティ300事業の百万円の報償金が「本町納税組合Aチーム」に決定。
○ 第五回生涯学習推進大会開催。(コミセン)

3月

○ 市町村合併問題百人委員会を設置。
○ 村収入役に山田勝明氏を再任。
○ 津軽北部地方合併協議会設置協定書に調印(金木町・中里町・市浦村・小泊村)
○ 市浦小学校で統合後初めての卒業式。
○ 市浦村独自のホームページを開設。
○ 広報くらら縮刷版を刊行。

4月

○ 平成十四年度がスタート。一般会計当初予算額は二十四億三千四百万円。
○ 一日ドック(総合健診)で村民八百四十人が受診。
○ 毎週土曜日を休みとする完全学校週五日制が始まる。
○ 村友会議を開催。(市浦村役場)

5月

○ 村元富弥さん(磯松)が勲六等単光旭日章を受賞。
○ 海岸清掃活動が評価され、金木高校・市浦分枝に全国海岸協会から感謝状が贈られる。

6月

○ 相内・太田地区で虫送り開催。
○ 十三湊・壇林寺跡発掘調査が始まる。
○ 四国民舞輪の会と交流会。(コミセン)
○ 二〇〇三アジア冬季競技大会キャラバン隊来村。
○ 市町村合併問題百人委員会第二回全体会を開催。(あすなろホール)

7月

○ ウィンドサーフィンの全国大会「十三湖レーシング二〇〇二」開催。(十三湖特設会場)
○ 市町村合併問題百人委員会第三回全体会を開催。(あすなろホール)
○ 十三湊遺跡・壇林寺跡発掘調査現地説明会を開催。



▲ 8月11日の集中豪雨で「豪雨災害対策本部」を設置。被害額は約2億2千万円に達する



▲十三湊遺跡・壇林寺跡発掘調査



▲相内・坊様踊りとねぶたまつり



▲道の駅「十三湖高原まつり」



▲相内の虫送り



▲脇元岩木山神社大祭



▲十三の砂山まつり・御輿運行



▲総合防災訓練を実施

8月

- 八月十一日の集中豪雨で「豪雨災害対策本部」を設置。
- 住民基本台帳ネットワークシステムが稼働する。
- 第五十七回青森県民体育大会で体協ボウリング部が優勝。
- 第五回道の駅十三湖高原まつり開催。
- 十三の砂山まつり開催。(十三地区)
- 相内・坊様踊りとねぶたまつり開催。(相内地区)
- 新やまなみバス運行。
- ふるさと探見ツアーに首都圏から二十四人が参加。
- 平成十四年度成人式を挙行。新成人十八人が大人の仲間入り。(コミセン)

9月

- 市浦村総合防災訓練を実施。(脇元地区)
- 脇元岩木山神社大祭。(脇元地区)
- 平成十四年度敬老会開催。(コミセン)
- 県民体育大会。(五所川原市)

10月

- 市町村合併シンポジウムを開催。(コミセン)
- 子牛品評会開催。「きよかみ」チャンピオンに輝く。(実取牧場)
- 市町村合併問題百人委員会第四回全体を開催。(あすなろホール)

11月

- 市町村合併枠組みに関する住民アンケート(18歳以上)を実施。
- 第二十三回あすをひらくふるさとまつり。(コミセン)
- 平成十四年度市浦村褒賞受賞式において五人を表彰。(あすなろホール)
- 第三十三回保健・医療・福祉共同計画会議開催。(コミセン)
- 総合落成式典を挙行。(コミセン)
- 関東地区ふるさと市浦会交流会東京都で開催。

12月

- 市町村合併問題百人委員会第五回全体会を開催。(あすなろホール)
- 市町村合併問題百人委員会第六回全体会を開催。(コミセン)
- 市町村合併に関し村議会全員協議会を開催。合併の枠組みは二町二村に。

市町村合併に関する アンケート調査集計結果

アンケート回収率

①アンケート調査用紙配付者数	2,552人
②アンケート調査用紙回収者数	2,223人
③アンケート回収率	87.10%

性別回答者数

①男	1,029人
②女	1,167人
③不明(未回答)	27人

年齢別回答者数

①18・19歳	42人	⑤50歳代	370人
②20歳代	229人	⑥60歳代	448人
③30歳代	250人	⑦70歳以上	528人
④40歳代	334人	⑧不明(未回答)	22人

「広域合併」と「二町二村合併」が拮抗

11月に18歳以上の住民を対象に行った、「市町村合併に関するアンケート調査」の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。今回のアンケート調査には主に合併の枠組みを問う内容となっており、集計の結果「二町二村の合併」と「五所川原市を含めた広域合併」が拮抗するという結果となり、回答者の意見がわかれました。今回のアンケート調査の回収率は87.10%でした。みなさんのご協力ありがとうございました。

地区別回答者数

①相内・桂川	893人	④磯松	252人
②太田	191人	⑤十三	502人
③脇元	363人	⑥不明(未回答)	22人

合併パターン回答者数 (あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だとおもいますか。)

①五所川原市を含めた広域合併	1,055人 (47.5%)
②金木町、中里町、市浦村、小泊村	1,069人 (48.1%)
③その他	41人 (1.8%)
④未回答	58人 (2.6%)

【その他回答の合併パターン】

西郡	7人	4町村+車力	5人	小泊・市浦	3人	大々的な	3人
小泊・市浦・車力・鱒ヶ沢	2人	青森市	2人	青森か弘前	2人	県全域	2人
金木・中里・市浦	2人	4町村+車力・稲垣	2人	新田+市浦	2人	北郡・西郡・東郡	1人
青森市と津軽半島	1人	西北地区	1人	北郡	1人	市浦・車力・鱒ヶ沢	1人
柏・稲垣・車力市浦	1人	車力・木造・市浦	1人	市浦・車力	1人	中里・市浦	1人

【30歳代回答】

①	五所川原市を含めた 広域合併	115人	46.0%
②	金木町・中里町・ 市浦村・小泊村	117人	46.8%
③	その他	7人	2.8%
④	未回答	11人	4.4%
		250人	100.0%

【40歳代回答】

①	五所川原市を含めた 広域合併	162人	48.5%
②	金木町・中里町・ 市浦村・小泊村	159人	47.6%
③	その他	6人	1.8%
④	未回答	7人	2.1%
		334人	100.0%

【50歳代回答】

①	五所川原市を含めた 広域合併	175人	47.3%
②	金木町・中里町・ 市浦村・小泊村	179人	48.4%
③	その他	7人	1.9%
④	未回答	9人	2.4%
		370人	100.0%

【60歳代回答】

①	五所川原市を含めた 広域合併	233人	52.0%
②	金木町・中里町・ 市浦村・小泊村	205人	45.8%
③	その他	4人	0.9%
④	未回答	6人	1.3%
		448人	100.0%

【70歳以上回答】

①	五所川原市を含めた 広域合併	237人	44.9%
②	金木町・中里町・ 市浦村・小泊村	272人	51.5%
③	その他	7人	1.3%
④	未回答	12人	2.3%
		582人	100.0%

Q.「あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか」という質問に対して、「男女別結果」・「年代別結果」・「地区別結果」を分析してみました。

【男女別結果・男】

①	五所川原市を含めた 広域合併	512人	49.8%
②	金木町・中里町・ 市浦村・小泊村	474人	46.1%
③	その他	21人	2.0%
④	未回答	22人	2.1%
		1,029人	100.0%

【男女別結果・女】

①	五所川原市を含めた 広域合併	542人	46.4%
②	金木町・中里町・ 市浦村・小泊村	582人	49.9%
③	その他	20人	1.7%
④	未回答	23人	2.0%
		1,167人	100.0%

【年代別結果 18・19歳回答】

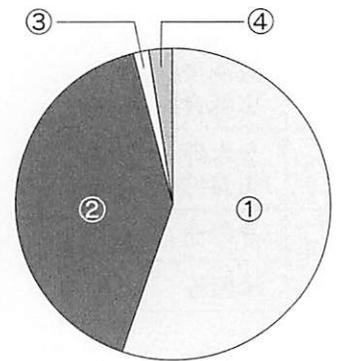
①	五所川原市を含めた 広域合併	20人	47.6%
②	金木町・中里町・ 市浦村・小泊村	21人	50.0%
③	その他	1人	2.4%
④	未回答	0人	0.0%
		42人	100.0%

【20歳代回答】

①	五所川原市を含めた 広域合併	110人	48.0%
②	金木町・中里町・ 市浦村・小泊村	110人	48.0%
③	その他	9人	3.9%
④	未回答	0人	0.0%
		229人	100.0%

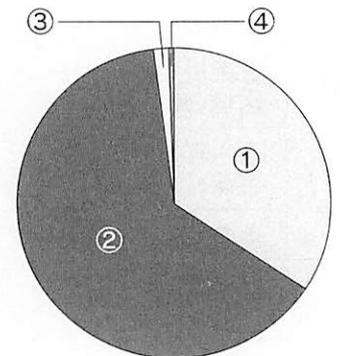
【地区別結果 相内・桂川地区】

①	五所川原市を含めた広域合併	494人	55.3%
②	金木町・中里町・市浦村・小泊村	364人	40.8%
③	その他	14人	1.6%
④	未回答	21人	2.4%
		893人	100.0%



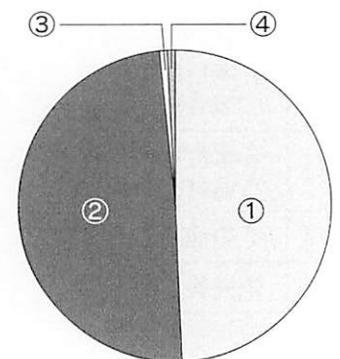
【太田地区】

①	五所川原市を含めた広域合併	65人	34.0%
②	金木町・中里町・市浦村・小泊村	122人	63.9%
③	その他	3人	1.6%
④	未回答	1人	0.5%
		191人	100.0%



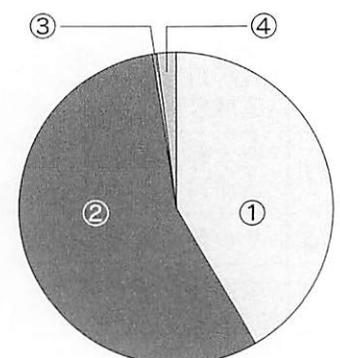
【脇元地区】

①	五所川原市を含めた広域合併	179人	49.3%
②	金木町・中里町・市浦村・小泊村	178人	49.0%
③	その他	3人	0.8%
④	未回答	3人	0.8%
		363人	100.0%



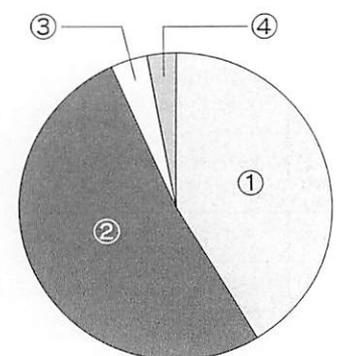
【磯松地区】

①	五所川原市を含めた広域合併	105人	41.7%
②	金木町・中里町・市浦村・小泊村	141人	56.0%
③	その他	1人	0.4%
④	未回答	5人	2.0%
		252人	100.0%



【十三地区】

①	五所川原市を含めた広域合併	208人	41.4%
②	金木町・中里町・市浦村・小泊村	260人	51.8%
③	その他	19人	3.8%
④	未回答	15人	3.0%
		502人	100.0%



市町村合併問題で活発な意見交換

市町村合併問題百人委員会第5回全体会

十二月二日、青森あすなるホール市浦で、第五回市町村合併問題百人委員会（伊南忠雄委員長）全体会を開催しました。今回の全体会は、昨年十一月に十八歳以上の住民を対象に実施した市町村合併に関するアンケート調査結果の報告と、合併に関する意見交換を行うために開催されました。

全体会では、伊南委員長が「県内の市町村合併の動きも活発になってきた。これまで百人委員会として様々な意見を交わしてきた。この委員会としての意見を村、議会に要望していきたい。」とあいさつ。引き続き出席した委員に市町村合併担当者から、アンケートの詳細についての説明がされました。「アン

ケート集計結果は六〇八ページ掲載」

意見交換では、出席委員から「二町二村（金木、中里、市浦、小泊）の合併協議会の情報は協議会独自の広報などで流れてくるが、五所川原市を含めた広域合併の情報があまり伝わってこない。」「合併に関しては、まだまだ議論が不足している。町内会ごとに説明会を開催し、膝を交えた話し合いが必要」、「百人委員会としての方向付けは、五

所川原を含めた広域合併ということで大勢を占めているが、アンケート結果は二町二村の合併が上回っている。枠組みの決定は慎重に」など活発な意見交換が行われました。



▲町村合併について活発な意見交換を行った100人委員会

ボウリングで心地よい汗

第12回 村民ボウリング大会

十一月三十日、第十二回村民ボウリング大会が、アイビーボウル柏で開かれ、子どもたち十九人を含む、村民五十一人が参加し、心地よい汗を流しました。

三ゲームトータルで順位を競った大会では、各選手とも好ゲームを展開し、接戦となりましたが、三ゲームとも安定したスコア（得点）を残した梶浦瑞穂さんが見事優勝を飾りました。梶浦さんは「家族で時々ボウリ

ングを楽しんでいるので、優勝できてとてもうれしいです。」と喜んでいました。

大会は年々盛り上がりを見せており、今回は過去最高の参加者となりました。体協ボウリング部の新岡寿行部長は「今後もより多くの村民の皆さんにご参加をいただいで、ボウリング場を貸し切るくらいの大会にしたいです」と意気込んでいました。

各種工事の完成を祝う

公共事業総合落成式

十一月二十一日、コミュニティセンターで村公共事業総合落成式を執り行いました。

落成式には、村、県、工事関係者ら百三十人が出席。

高松村長の式辞に続き、工藤助役が平成十一年度から平成十四年度まで行った、各種工事の工事経過報告を行いました。また、青森県知事（代理）をはじめ、津島雄二、木村太郎衆議院議員、山崎力参議院議員（いずれも代理）の祝辞に続き、浜田春士副議長の音頭により万歳三唱を行い工事の完成を祝いました。

式典では工事に対する用地提供者・工事関係者に村から感謝状が贈られました。

海・山・湖—中世津軽の史都—北のまち—しら—市浦村公共事業総合落成記念式典



▲高松村長が式辞



▲万歳三唱を行い工事の完成を祝う



▲村から感謝状が贈られました

▶優勝した梶浦さん



二町二村で法定協議会へ 村議会全員協議会へ

十二月十九日、市町村合併に
関し、村議会全員協議会を開き、
市浦村が進むべき市町村合併の
枠組みを協議しました。

全員協議会には、村議十二人
全員が出席。合併の枠組みにつ
いて、「二町二村（金木町、中
里町、市浦村、小泊村）の合併
で行くべき」、「法定協議会移行
を急ぐべきではない。五所川原
市を含めた広域合併を目指すべ
き」と各議員からの意見も二つ

に割れました。しかし最後に高
松村長が「法定協議会への移行
を急ぐ必要はないが、市浦村と
して、法定協議会への移行の是非
を問われたら同調する」とい
う考えを示し閉会した。

村では、昨年六月に市町村合
併問題百人委員会で「五所川原
市を含めた広域合併を目指すべ
き」という意見が大勢を占めて
います。一方、昨年十一月に行
った合併の枠組みに関するアン

ケート調査結果「アンケート集
計結果六ページ〜八ページ」で
は、「二町二村の合併」が若干
ではあるが「五所川原市を含め
た広域合併」を上回る結果が出
ています。

高松村長は、住民、議会の意
向を最終集約し、「五所川原市
を含めた広域合併の考えには変
わりはないが、改善の策として
二町二村の友好を考えた上で総
合的な高度の判断」としながら
も、「苦渋の選択である。法定
協議会移行後も五所川原市を含
めた広域合併を視野に入れるこ
とを呼びかけていく。」として
います。

広報しうら縮刷版を 販売しています

昭和57年6月号～平成14年2月号までの約
20年間の「広報しうら」を収録した「広報し
うら縮刷版」にまだ若干の残部数がございます。
購入を希望する場合は、役場企画財政課ま
でお問い合わせ下さい。

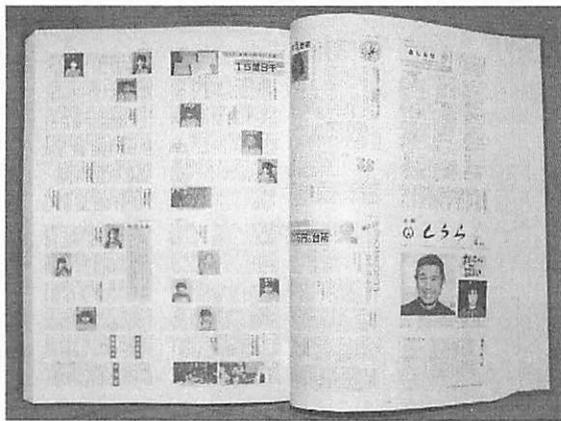
記

◆広報しうら縮刷版

○価 格 1冊 5,000円

▶お問い合わせ

役場企画財政課 ☎62-2111 (内線19)



▲20年間の「広報しうら」を収録

議会報告

平成十四年市浦村議会第四回
定例会は、十二月九日から十三
日まで開かれ、補正予算や村特
別職の給与等や、職員給与に
関する一部改正条例など十四議
案を原案どおり承認可決しまし
た。

- 市浦村報酬額及び費用弁償に
関する条例の一部改正
- 市浦村特別職の職員給与に関
する条例の一部改正
- 市浦村教育委員会教育長の給
与および勤務時間等に関する
条例の一部改正
- 市浦村一般職員の給与に関す
る条例の一部改正
- 市浦村議会議員期末手当支給
条例の一部改正

- ◎その他
- 村営土地改良事業（十四年災）
の施行について
- 公有水面の埋立てについて
- ◎意見書
- 森林・林業・林業活性化を求
める意見書一件

◎補正予算関係

- 平成十四年度市浦村一般会計
補正予算（第四号）ほか四件。
- ◎追加された主な事業

- ☆あおもり施設農業補助金追加
三百六十八万二千元
- ☆県営相内地区ほ場整備負担金
追加
九百五万六千元

☆議員報酬、四役給料等減額

百四十万三千元

☆職員給与等改定減額（一般会 計分）

九百三万円

☆介護保健事業保険給付費の追 加等

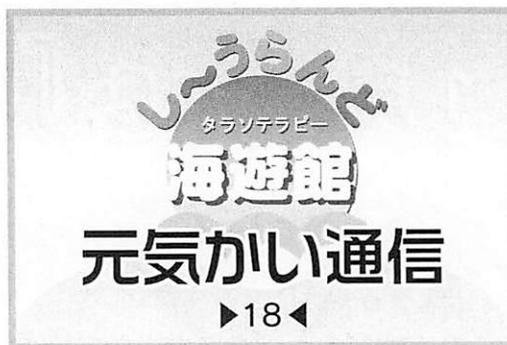
二千五百四十四万八千円

◎報告関係

- 専決した事項の報告及び承認
を求めることについて

◎条例関係

- ◎一般質問
- 三和孝治議員、三和均議員、
福井俊美議員の三氏がが行い、次
のことを質問いたしました。
- ▼三和孝治議員
- ①市町村合併について
- ②除排雪対策について
- ③介護保険料の改定について
- ▼三和均議員
- ①市町村合併について
- ②農業問題について
- ③しうらんど海遊館について
- ▼福井俊美議員
- ①市町村合併について
- ②ゴミ焼却施設について



2011年 今年のテーマ

しゅうらんど海遊館
支配人 高梨 三千尋

私がここ市浦に来てから、あつという間に二年と四ヶ月が過ぎました。二〇〇〇年十一月のオープン以降、私たちは多くの人と出会う機会に恵まれました。二年前には皆さんの多くの方が「タラソテラピーってなんだろう？温泉とは違うのか？」と思われていたはず。今ではどうでしょう。おそらくほとんどの方が海遊館は「運動するところ」「リラックスするところ」



「ぬるい海水の入ったプールに水着を着て入るところ」くらいの知識は持っていただけかと思えます。海遊館の最も重要な役割とは住民の皆さんの健康維持・増進です。これはこの先もずっと変わることのないテーマです。最近、会員の皆様から「おかげさまで膝がよくなった」「腰が病まなくなった」「体が縮まった」などの声をよく耳にします。これは海遊館を自慢しているわけでもないし、宣伝しているわけでもありません。ただ、このような声を聞き私たちはホッとします。ちゃんと役割がはたせているのだなと感じます。しかし、満足はできません。なぜなら私たちの使命

は村全体を含めた健康管理です。村民の一部の方に健康や快適性を提供するだけでは本来の目的を達成したことにはなりません。また、一度も来たことのない方も多くいると思いますが、「週二回・一時間」でいいので通っていただきたいと思っています。予防医学という言葉聞いたことがありと思いますが、できれば元気があ

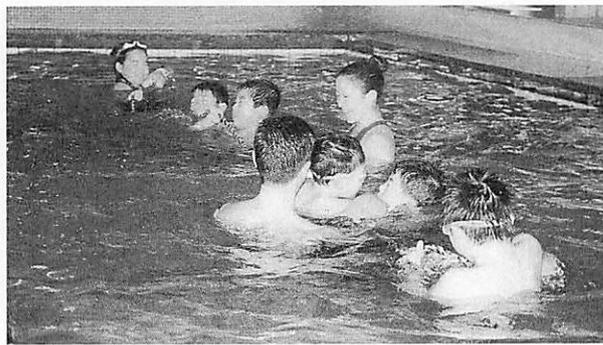
るうちに通って病気を怪我をしないように体調管理を無理なく行っていたきたい。しかも、楽しく。病気を怪我をしてからでは元気がしぼんでしまい、通うことがたいぎになってしまいがちです。それもいいから通ってください。水着が恥ずかしいと思



も、楽しく。病気を怪我をしてからでは元気がしぼんでしまい、通うことがたいぎになってしまいがちです。それもいいから通ってください。水着が恥ずかしいと思

インフォメーション

1月より「10ヶ月継続サービス」を再開します。10ヶ月継続して入会すると2ヶ月分の会費が無料サービスされます。タラソテラピーのような自然療法は継続することで効果が現れます。皆さん海遊館でお待ちしています。また、会員の方は会員特別割引にて人気のオプションプログラムをご利用いただけます。



1月10日は『110番の日』です

110番は、警察への緊急通報用電話番号で、交通事故や泥棒、ケンカなど緊急に通報しなければならない場合に利用します。

この110番制度は、昭和23年から導入され、県民の安全な暮らしを守るため欠かすことのできない制度として定着してきました。

その一方で「間違い電話」や「いたずら電話」が多く、そのため回線が塞がり、1分1秒を争う緊急事態の通報が掛かりにくくなることがあります。また、「こんな事で110番していいんだらうか?」とためらったり、せっかくかけても、慌てていて通報の内容が正しく伝わらなかったことも少なくありません。

そこで、警察では、110番の仕組みや機能、公衆電話や携帯電話からかける場合の注意事項などについて、県民の皆さんによく理解していただくために、昭和61年から毎年1月10日を「110番の日」と定

めて、110番の正しいかけ方や積極的な利用を呼び掛けています。

110番は、県内のどこの地域からかけても、青森市にある警察本部の通信指令課につながり、直ちに、無線指令で最寄りの警察署のパトカーや交番、駐在所の警察官が現場に急行する仕組みになっています。

警察本部では、110番通報に迅速、的確に対応するために、110番通報があった場合、一つの事案に対して、受理担当と無線担当が二人ひと組で対応しています。

1. 何があったのか?
2. どこで?
3. いつ?
4. 犯人は?
5. どんな状況か?
6. あなたの名前、電話番号?

を順番にお聞きしますので、落ち着いてはつきり話してください。

通報内容を聞いている間に無線指令が発せられ、目標めざしてパ

トカーが現場に急行します。

さらに、通信指令課では、ファックス110番を設置し、耳や言葉に障害をお持ちの方から文書による110番通報も受付ています。

ファックス番号は、017-722-0110 (通称「第二の110番」) ですのでご利用ください。

また、携帯電話やPHSから110番通報する場合は、

- 現場を離れない (現場の状況、場所を詳しく説明できる)
 - 移動しながら話さない (電波状態により途中で切れてしまう)
 - 通報後は電源を切らない (警察から電話を掛け直すことがある)
- 等に注意してください。

緊急性のない一般的な困りごと相談や警察に対する意見・要望などは、警察本部の警察総合相談電話017-735-9110 (プッシュ回線#9110) や最寄りの警察署・交番・駐在所などをご利用ください。

* 事件・事故 緊急ダイヤル110番

* 110番は緊急電話 相談ごとは#9110

消 防 ・ ネットワーク

火事と救急・救助は119番

今年も《火の用心》

新年あけましておめでとうございます。

今回は、火災予防の普及に用いられる「火の用心」についてお伝えします。

「火の用心」という言葉を最初に使ったのは、徳川家康の家来であった、本多作左衛門重次とされています。

天正12年(1584年)彼は、小牧山の戦場から妻に送った陣中便りで、「一筆啓上、火の用心、お仙泣かすな、馬肥やせ」という一節を書いています。

「火の用心」という言葉が、現在も使われているのは、火災予防のPRはこの一言に尽きるといえるからです。

更に、これほど端的に人の心をとらえて火災予防を的確に言い表した言葉は他にないのではないのでしょうか。

このことから本多作左衛門重次という人は、火災予防運動の先駆者であったともいえます。

消防署からのお願い

今年も雪の降る寒い季節になり、雪で道路も狭くなります。消火栓、防火水槽付近への違法駐車は絶対やめましょう。また雪を捨てるのもやめましょう。





Asian Beat とどけ世界にアジアの響き

青森2003

第5回 アジア冬季競技大会

開催日程

●2003年2月1日(土)～
2月8日(土)



住宅金融公庫からのお知らせ

住宅金融公庫の住宅ローンをご返済中で、最近の不況に伴う失業や収入の減少などで返済にお困りの方に対しては、次のようなご返済方法の変更を実施しています。

- ①返済期間の延長 (最長10年)
- ②元金据置期間の設定 (最長3年)
- ③元金据置期間中の金利引下げ

お取扱い期間は、平成15年3月末までです。

*詳細については、住宅金融公庫東北支店(☎022-227-5003)又は現在ご返済中の金融機関までお問い合わせ下さい。

ご存知ですか! 検察審査会

交通事故、詐欺、おどしなどの犯罪の被害にあい、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を起訴してくれない。このような不満をお持ちの方のために、検察審査会があります。

お気軽にご相談ください。費用は無料で、秘密は固く守られます。

▶お問い合わせ

〒036-8356 弘前市大字下白銀町7番地
青森地方裁判所弘前支部内
弘前検察審査会事務局
☎0172-32-4321 (内線350)

五所川原税務署からのお知らせ《各年金説明会についてのご案内》

平成14年分の確定申告時期も間近となりました。税務署では、次の日程で収支内訳書や確定申告書の

◎白色事業所得者のための収支内訳書・申告書作成説明会

【営産業所得者】

開催日	時間	会場
平成15年1月28日(火) (午前・午後2回開催)	①午前10時～ ②午後1時30分～	中里町 「バルナス」
平成15年1月31日(金) (午前・午後2回開催)	①午前10時～ ②午後1時30分～	五所川原市 「オルテンシア」

*税務署から送付された収支内訳書・確定申告書を持参してください。

【農業所得者】

開催日	時間	会場
平成15年1月30日(木) (午前・午後2回開催)	①午前10時～ ②午後1時30分～	五所川原市 「オルテンシア」

*税務署から送付された収支内訳書・確定申告書を持参してください。

書き方について説明会を開催しますので、ぜひ、ご出席ください。

◎年金所得者に対する確定申告説明会

開催日	時間	会場
平成15年2月6日(木) (午前・午後2回開催)	①午前10時～ ②午後1時30分～	五所川原市 「中央公民館」

*平成14年分の収入が「公的年金のみの方」が対象です。源泉徴収票のほか別途持参していただく書類等がありますので、税務署にお尋ねください。

◎住宅借入金等特別控除申告説明会

開催日	時間	会場
平成15年2月7日(金) (午前・午後2回開催)	①午前10時～ ②午後1時30分～	五所川原市 「中央公民館」

*平成14年分の収入が「給与所得のみで住宅借入金等特別控除だけを受ける方」が対象です。控除を受けるための要件と必要な書類がありますので、税務署にお尋ねください。

*説明会についてのお問い合わせは、五所川原税務署 個人課税部門をお願いします。(☎34-3152)

県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

発生	11月中	年累計	死者の 状態	飲酒運転による死者	
				11月中	年累計
857件 (-25)	8,232件 (-355)		死者	15 (±0)	
9人 (-2)	96人 (-7)		シートベルト	高年齢者の死者 ～65歳以上の人～	42 (+2)
1,092人 (-11)	10,405人 (-433)			自動車乗車中の死者	45 (-7)
				非着用死者	23 (-6)
				着用していれば助 かったと思われる人	12 (±0)

()内は対前年比。累計は1月から。速報値のため後日変更することがあります。

相続登記はお済みですか月間

青森県司法書士会は、2月を「相続登記はお済みですか月間」と定めて、相続登記の大切さを啓発する活動月間としております。

そこで、この1カ月間は相続登記に関する相談を無料で実施いたしますので、お近くの各司法書士事務所までお問い合わせ下さい。(但し、調査等を要する場合は有料となります。)

▶お問い合わせ

青森県司法書士会 ☎017-776-8398

国民年金「コーナー」

公的年金の源泉徴収票が交付されます

国民年金、厚生年金保険及び共済組合などから支給される老齢年金等（老齢または退職を支給事由とする年金）は、所得税法上「雑所得」とみなされ、所得税の課税対象となります。

公的年金等の支払者（社会保険庁・各共済組合）は、所得税が老齢年金等から源泉徴収されたか否かにかかわらず、老齢年金等を受けている年金受給者の方々全員に「公的年金等の源泉徴収票」を作成し、その年の一

月三十一日までに交付することとされており（障害年金・遺族年金につきましては課税対象とはなりませんので源泉徴収票はお送りしません。）

このため、社会保険業務センターでは、国民年金、厚生年金保険の対象となる年金受給者の方々に平成十四年分の源泉徴収票を作成し、平成十五年一月末日までに届くよう、平成十五年一月二十四日までの間に順次送付することとしています。

源泉徴収票に記載されている事項は、その年の一年間に支払われた年金の総額、社会保険料の金額（介護保険料額）、源泉徴収税額及び控除内容等となっています。

二つ以上の年金の支払者に扶養親族等申告書を提出している方や、年金以外に給与等の所得がある方、または、公的年金等の雑所得の合計額が各種所得控除の合計額を超える方などは、確定申告（平成十五年三月十五日まで住所等を管轄とする税務署で受付）の際に、添付書類として必要となりますので大切に保管してください。

青森県最低賃金

平成14年10月1日から適用されています

1時間 605円

産業別最低賃金

～平成14年12月21日から適用されています～

鉄鋼業 1時間 721円	電気機械器具製造業 1時間 664円
各種商品小売業 1時間 660円	自動車小売業 1時間 700円

今回から時間額のみとなりました

※「電気機械器具製造業」には情報通信機械器具製造業、電子部品・デバイス製造業が含まれます。

ご相談・お問い合わせ

- 青森労働局賃金室 ☎017-734-4114
- 五所川原労働基準監督署 ☎35-2309

はたちの献血キャンペーン

新たに成人式を迎える「20歳(はたち)」の若者を中心に冬季における献血者の確保を目的として「はたちの献血」キャンペーンを実施いたします。

「20歳(はたち)」を迎えるみなさん共々たくさんの皆様の暖かい愛の献血のご協力をよろしくお願い申し上げます。

♥はたちの献血キャンペーン期間

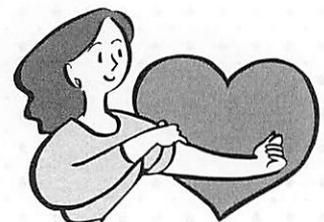
平成15年1月1日から平成15年2月28日までの2か月間

♥献血場所

県内を巡回する移動採血車及び青森市、弘前市、八戸市の各「献血ルーム」

▶はたちの献血キャンペーンに関するお問い合わせ

役場住民福祉課
健康管理係
☎62-2111 (内線34)



あ
と
が
き

新年明けましておめでとうございます。▼先日ある記事を探したため、昭和五十七年十一月に発刊された「広報しらら縮刷版」を開いた。広報しららは、今から四十六年前の昭和三十二年八月に第一号が発行されている。その問題字の変更などあり、現在に至っています。▼現在の題字は昭和四十七年七月号から使用されており、題字の作者が当

時の広報で紹介されていました。「川倉小学校に勤務の桜庭利弘先生です。先生は数年前に相内小学校にいたこともあり、本村になじみのある方です」【昭和四十七年七月号より】とある。題字が変わってから今年で三十二年目を迎える「広報しらら」の手にとって読みやすい紙面づくりをめざして今年もがんばりますので村民のみなさんの情報提供をよろしくお願いいたします。